

ことばの教室 ご案内

このようなお子さんのための教室です

☆ 通級による指導で改善が見込まれる南佐久郡の小学校の通常学級に在籍しているお子さんが対象となります。

○正しく発音できない音がある(例さかな→たかな せんせい→しえんしえい)

○声が鼻にぬけたり鼻にかかったりしてわかりにくい。

○吃音がある(ことばがつまったり、繰り返したり、引きのばしたりする)

○聞き逃し、聞き返し、聞き誤りが多い。

○おおむね年齢相応の育ちをしているが、ことばの発達だけが遅い。

このような内容で指導しています。

☆ 「人といっしょにすることが楽しい。もっと話したい。聞きたい。伝えたい。」

こんな気持ちを育て、お子さんが安心して話ができる人間関係をつくることが指導の第一歩だと考えています。

○ことばを聞き分ける力をつけたり、舌や唇などの発音に関する器官の働きを高めたりして、正しい発音ができるようにします。

○よりなめらかに話したり読んだりできるようにします。

○ことばで上手に表現する力を伸ばします



このような形で指導しています。

☆ 通級制です。

普段は在籍している学級で学習し、決まった時間だけ通級して、ことばの指導を受けます。

指導は週1～2回(45分～60分)程度ですが、ことばの状況に応じて変わります。

通級の時間は欠席扱いになりません。

☆ 個別指導が中心です。

一対一の個別指導が中心です。必要に応じてグループ指導を行う場合があります。

☆ 保護者の送迎を原則としています。(佐久穂小学校、南牧北小学校の児童は例外です)

佐久穂小学校の教室と南牧北小学校サテライト教室があります。

相談を希望される方は、学校または園を通して、佐久穂小学校へお申し込みください。

- ・ 相談から所定の手続きを経て正式な通級になります。
- ・ 見学や体験もできます。

佐久穂小学校まなびの教室 ご案内

★このような子どもたちが利用できます。

小学校の通常の学級に在籍し、次のような状態がある児童

学習や生活の一部に特別な教育的配慮が必要、

学習障がいや注意欠如多動性障がい等、発達障がい

具体的には・・・

友達と上手くなじめない（気持ちや考えを伝えるのが苦手）・じっとしていらなくて落ち着けない（椅子に座って一定の時間の勉強が難しい）

- ・初めてのことをひどく心配する。極端にこわがる。
- ・友達とトラブルが多い。順番やきまりが守れない。
- ・特定の教科や分野に苦手さがある。学力にばらつきがある等



★佐久穂小学校の教室と、南牧北小にサテライト教室（火曜日）があります。

「通級教室ってなに？」

★在籍する学校（学級）から、決められた回数（主に週 1 回程度）通級指導教室へ通い、個別の指導を受けます。

指導時間は、1 時間程度です。

★指導は、1 対 1 の個別指導が中心です。

★指導時間は、授業時間とみなされ出席扱いになります。

★通級する曜日や時間、指導の内容は、保護者の希望と児童の状態と在籍校（担任）の話し合いで決めます。



「指導の内容は？」

★一人ひとりの子どもの状態に応じて指導計画が立てられます。

★教科などの授業は、自分の学校（学級）で受けながら、つまずきや困難の状況に応じた学習を行います。

★対人関係、社会性のスキル学習（SST 等）の自立活動を中心におこないます。

通級による指導を受けるには

「どうしたらいいの？」

★お子さんの状況をお聞きし、教育相談から所定の手続きを経て、正式な通級になります。

- ・見学や体験等もできます。
- ・手続きは、市町村によって異なります。

大切にしていること

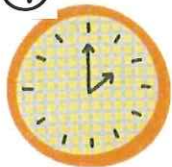
★保護者や在籍校の担任と相談し、連携しながら指導を進めます。

- ・保護者や在籍校担任との教育相談
- ・支援会議への出席
- ・学校訪問・授業の相互参観

（訪問には、派遣申請書のお願いをします。）

★医療や福祉等関係機関と連携しています。専門性を高めよりよい指導を心がけています。

よろしくお願いします。
わからないことがありましたら、
なんでもご相談下さい。



南牧村の中間教室



“ほっとルーム”



南牧村には中央公民館（＊現在は工事のため海ノ口公民館）に、中間教室 “ほっとルーム” という部屋があります。教育委員会に在籍する指導主事の渡邊元子先生が、学校が嫌になってしまう前に、孤立してしまう前に、子ども達がほっとできる場所があったら、とそんな思いから3年前にオープンしました。

中間教室ってどんなところ？

学校生活に馴染めない、教室に入りづらい子が安心して通える場所。スタッフ（先生）が2名在籍しています。

スタッフ

＊川嶋愛香先生：佐久穂町在住・保育園児のお母さん

＊吉澤康代先生：平沢在住・小中学生のお母さん



どうやって利用するの？

利用する曜日・時間を本人も交えて相談して決め、スケジュールに沿って登校します。

誰でも気軽に行けるの？

いいえ。担任の先生に相談→渡邊先生と話し合い→本人も交えて面談し利用の仕方を決めます。

どんな事して過ごすの？

子ども本人が教室に来てから決めます。興味のある事とことん！理科の実験をした事も。オンラインで学校の授業に参加する事もできます。



通っている子の様子は？

最初は不安そうにしていた子も、安心できる場所と感じると素の姿で過ごせるように。昼夜逆転していた子は、通ううちに健やかな生活リズムに。



現在は海ノ口公民館

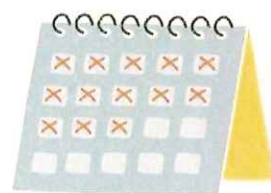


親が行っても良い？

子どもが不安なうちは一緒に。慣れてくれば子どもだけで。でも何か相談事があれば気軽に連絡を！

先生の思いは♡

子ども達が楽しいと思ってくれる、そしてほっとできる場所に。そしていつか「大丈夫」「さよなら」とみんなのいる教室へ行ける日がくれば良いなあ。



“ほっとルーム”は近隣の学校に在籍している生徒さんも利用しているそうです。このような体制が整っている自治体は、南佐久管内では佐久穂町と南牧村だけとのこと。不安そうな顔をしていた子がニコニコして帰っていく姿を見ると、良かった～と先生方も嬉しい気持ちになるそうです。利用する子に合った支援を考え、《人と繋がれる場所》《社会との繋がりを持つ場所》としてこれからもあり続けて欲しいと思いました。

子どもの様子をよく見て、心配な事があれば担任の先生はもちろん、教頭先生や保健師さん、話しやすい友人を通して（もちろん直接でも！）教育委員会の渡邊先生に相談してみてください。（電話 96-2104）実際に訪問してお話を伺うと、“ほっとルーム”はとても温かく落ち着く場所に感じました♡